

|     |                 |       |
|-----|-----------------|-------|
| 評価者 | 歴史まちづくり推進担当担当部長 | 榊 規彰  |
| 評価者 | 市民生活部長          | 齋藤 和徳 |
| 評価者 | 都市景観部長          | 吉田 浩  |

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

|            |              |                 |
|------------|--------------|-----------------|
| 総合計画上の位置付け | 計画の推進に向けた考え方 | 歴史的遺産と共生するまちづくり |
|------------|--------------|-----------------|

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

|                       |                |       |                |       |                |       |
|-----------------------|----------------|-------|----------------|-------|----------------|-------|
| 取組を知らない・わからないと答えた人の割合 | 令和元年度(2019年度)  | 26.6% | 平成30年度(2018年度) | 26.3% | 平成29年度(2017年度) | 25.3% |
|                       | 平成28年度(2016年度) | 21.1% | 平成27年度(2015年度) | 21.2% |                |       |

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

|         |      |        |      |
|---------|------|--------|------|
|         | 使いすぎ | ちょうどよい | 足りない |
| 必要以上の効果 | 2.7% | 1.3%   | 0.5% |
| ちょうどよい  | 2.2% | 41.1%  | 1.0% |
| 効果不十分   | 5.4% | 3.5%   | 9.4% |

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

  

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

|         |      |        |       |
|---------|------|--------|-------|
|         | 使いすぎ | ちょうどよい | 足りない  |
| 必要以上の効果 | 3.1% | 0.7%   | 0.3%  |
| ちょうどよい  | 1.0% | 39.0%  | 0.7%  |
| 効果不十分   | 8.6% | 3.5%   | 11.7% |

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

  

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

|         |      |        |       |
|---------|------|--------|-------|
|         | 使いすぎ | ちょうどよい | 足りない  |
| 必要以上の効果 | 3.2% | 1.8%   | 0.5%  |
| ちょうどよい  | 1.9% | 40.6%  | 0.7%  |
| 効果不十分   | 6.3% | 5.4%   | 10.0% |

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

  

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

|         |      |        |       |
|---------|------|--------|-------|
|         | 使いすぎ | ちょうどよい | 足りない  |
| 必要以上の効果 | 3.2% | 1.6%   | 0.2%  |
| ちょうどよい  | 2.7% | 41.9%  | 0.4%  |
| 効果不十分   | 5.9% | 5.0%   | 12.6% |

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

  

**平成27年度(2015年度)**

お金の使い方

|         |      |        |      |
|---------|------|--------|------|
|         | 使いすぎ | ちょうどよい | 足りない |
| 必要以上の効果 | 4.7% | 1.1%   | 0.3% |
| ちょうどよい  | 2.3% | 39.8%  | 1.1% |
| 効果不十分   | 8.3% | 4.4%   | 9.4% |

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

### (3) 今後の進め方

|                | もっと力を入れるべき | 現状のままで良い | 力を入れなくて良い | 無回答   |
|----------------|------------|----------|-----------|-------|
| 令和元年度(2019年度)  | 15.8%      | 42.6%    | 8.6%      | 33.0% |
| 平成30年度(2018年度) | 17.5%      | 39.5%    | 11.7%     | 31.2% |
| 平成29年度(2017年度) | 17.4%      | 40.1%    | 13.0%     | 29.5% |
| 平成28年度(2016年度) | 20.6%      | 40.0%    | 13.5%     | 25.9% |
| 平成27年度(2015年度) | 19.6%      | 38.2%    | 15.0%     | 27.2% |

## 2 内部評価

### (1) 令和元年度(2019年度)の目標

#### ◎歴史まちづくり推進担当

歴史的遺産と共生するまちの実現に向けて、鎌倉の魅力や価値を発信する取組や、鎌倉の歴史的遺産を後世に伝えるための事業として次の事業を主体に取り組む。

①世界遺産登録については、神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、平成26年から実施してきた比較研究の成果をもとに、専門家等の意見を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築の検討を慎重に進める。また、普及啓発事業や様々な媒体を活用した情報提供によって、広く市民等に発信していく。(歴史-01)

#### ◎市民生活部

①日本遺産事業は、国からの補助金が平成30年度で終了したが、歴史的遺産と共生するまちづくりを推進し、鎌倉の魅力発信に寄与することが期待できるため、協議会自主事業としてブックレットの有償頒布の実現を図る。(市民-03)

#### ◎都市景観部

①鎌倉市歴史的風致維持向上計画を推進するため、構成事業の進行管理を行うとともに、歴史的風致形成建造物の指定を進めていく。(都景-02)

### (2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

| 評価対象事業名 |                     | 決算値(千円)           |                    | 職員数(人)                    |                            | 法定受託<br>事務 | 今後の<br>方向性 |      |
|---------|---------------------|-------------------|--------------------|---------------------------|----------------------------|------------|------------|------|
| 整理番号    | 事業名                 | 令和元年度<br>(2019年度) | 平成30年度<br>(2018年度) | 令和元<br>年度<br>(2019<br>年度) | 平成<br>30年度<br>(2018年<br>度) |            | 事業内容       | 予算規模 |
| 歴史-01   | 世界遺産条約登録事業          | 6,781             | 6,740              | 1.0                       | 1.5                        | 無          | b          | A    |
| 市民-03   | 日本遺産事業              | 1,614             | 678                | 1.5                       | 1.5                        | 無          | a          | A    |
| 都景-02   | 歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業 | 141               | 245                | 0.5                       | 1.0                        | 無          | b          | B    |

### (3) 主な実施内容

#### 【主な実施内容】

##### ◎歴史まちづくり推進担当

①神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、再推薦に向けた推薦書案作成のための活動を一時休止することを決定した。(歴史-01)

①4区市世界遺産登録推進委員会において、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築の検討を進めてきたが、イコモスが認める「顕著な普遍的価値」に到達できる新たなコンセプトの構築まではさらに多くの時間が必要であると結論付け、記者発表を行って市民・県民への周知を行った。

①これまでの活動内容と成果を報告するため、平成26年度から取り組んだ比較研究、連続講座及び報告会ならびに平成29年度に行った龍門石窟研究院(中国)とのやぐらに関する学術会議の内容をまとめた報告書を作成した。

##### ◎市民生活部

①鎌倉の日本遺産ストーリーとストーリーを構成する文化財の魅力を発信するため、日本遺産協議会で平成28年度に作成した鎌倉の日本遺産のストーリーを紹介するブックレットの内容増補し、ブックレットの有償頒布に向けて、装丁の変更、頒布額の検討、税法上の協議を行った(市民-3)

①日本遺産サミットに参加し、鎌倉の歴史・文化の魅力について情報発信を行った。(市民-03)

①市民への普及啓発のために、ホームページの更新やツイッターによる情報発信を行った。(市民-03)

##### ◎都市景観部

①鎌倉市歴史的風致維持向上計画に搭載した構成事業の進行管理を行った。(都景-02)

①令和元年度の進行管理・評価を実施するとともに、鎌倉市歴史的風致維持向上計画協議会の開催に向けた準備を行った。(都景-02)

①歴史的風致形成建造物に「鎌倉文学館」を指定した(都景-02)

#### 【実施できなかった事業とその理由等】

##### ◎歴史まちづくり推進担当

・世界遺産登録をめぐる活動の内容や今後の方針等を市民・県民に報告する会を令和2年3月に実施する計画だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を延期した。(歴史-01)

##### ◎市民生活部

・新型コロナウイルス感染症の影響により、頒布場所の開拓・交渉ができずブックレット有償頒布に着手できていない。(市民-03)

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

| ◎歴史まちづくり推進担当  |  |
|---|--|
| 効率性   | 計画全体の推進に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>             |
| 妥当性   | 計画全体の推進に向け、妥当(適切)な取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>                  |
| 有効性   | 計画全体の推進に向け、適切な成果が得られていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>                   |
| 公平性   | 計画全体の推進に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>         |
| <b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>   |  |
| 神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築の検討を進めてきたが、イモスが認める「顕著な普遍的価値」に到達できる新たなコンセプトの構築まではさらに多くの時間を要することから、4区市合同での推薦書案作成に係る活動は一時休止することを決定した。今後は、調査・研究活動については、各市でそれぞれ行うこととし、再推薦に向けた新たなコンセプトの発見に至ったとき、再度、合同での活動を実施することとした。      |  |
| ◎市民生活部  |  |
| 効率性   | 計画全体の推進に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>             |
| 妥当性   | 計画全体の推進に向け、妥当(適切)な取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>                  |
| 有効性   | 計画全体の推進に向け、適切な成果が得られていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>                   |
| 公平性   | 計画全体の推進に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>         |
| <b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>   |  |
| 国からの補助金が平成30年度で終了したが、引き続き日本遺産事業に取り組むことで、鎌倉の魅力発信に寄与し、本市がめざす歴史的遺産と共生するまちづくりに繋がると考える。現在は、国庫補助金に替えて市負担金を増額することで事業を継続しているが、協議会自立のための課題整理を行って、市負担金を減額する方策を検討している。   |  |
| ◎都市景観部  |  |
| 効率性   | 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>     |
| 妥当性   | 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>          |
| 有効性   | 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span>           |
| 公平性   | 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <span style="float:right">■ 適切 □ 要改善</span> |
| <b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>   |  |
| ・鎌倉市歴史的風致維持向上計画に搭載した構成事業の進行管理・評価を行うことにより、事業の推進を図ることができたことから、妥当性・有効性・公平性について適切と判断した。特に、景観地区の活用取組では、国の補助金を活用し、若宮大路・小町通り景観形成ガイドラインの作成ができたことから、効率性についても適切であると考えられる。(都景-02)<br>・歴史的風致形成建造物に「鎌倉文学館」を指定することができたことから、妥当性・有効性について適切と判断した。(都景-02) |  |

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

| 整理番号   | 歴史-01                                | 事業名       | 世界遺産条約登録事業 |           |           |           |           |  |       |   |    |
|--|--------------------------------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|-------|---|----|
| 指標の内容  | 講演会等の実施回数                            |           |            |           |           |           | 単位        | 回  | 指標の傾向 | ↘ | 備考 |
| 当該指標を設定した理由                                      | 年次                                   | H26(2014) | H27(2015)  | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019) | 令和元年度(2019年度)は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催を延期した。  |       |   |    |
| 比較研究において得られた成果を含め、「鎌倉」の価値や魅力について公表する有力なツールであるため。 | 目標値                                  | 1.0       | 1.0        | 1.0       | 1.0       | 1.0       | 1.0       |  |       |   |    |
|  | 実績値                                  | 1.0       | 4.0        | 9.0       | 1.0       | 0.0       | 0.0       |  |       |   |    |
|  | 達成率                                  | 100.0%    | 400.0%     | 900.0%    | 100.0%    | 0.0%      | 0.0%      |  |       |   |    |
| 整理番号   | 市民-03                                | 事業名       | 日本遺産事業     |           |           |           |           |  |       |   |    |
| 指標の内容  | 市民意識調査「鎌倉に住み続けたいかどうか」(市民の市への愛着度)の回答率 |           |            |           |           |           | 単位        | %  | 指標の傾向 | ⇒ | 備考 |
| 当該指標を設定した理由                                      | 年次                                   | H26(2014) | H27(2015)  | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019) | 当該事業の実施により、市民が本市に住み続けたいと感じてもらったため。また、日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化を測る指標として文化庁が設定しているため。 |       |   |    |
|  | 目標値                                  | 100.0     | 100.0      | 100.0     | 100.0     | 100.0     | 100.0     |  |       |   |    |
|  | 実績値                                  | 84.7      | 83.1       | 86.5      | 86.8      | 87.1      | 86.9      |  |       |   |    |
|  | 達成率                                  | 84.7%     | 83.1%      | 86.5%     | 86.8%     | 87.1%     | 86.9%     |  |       |   |    |

| 整理番号                             | 都景-02           | 事業名       | 歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業 |           |           |           |           |       |   |    |
|----------------------------------|-----------------|-----------|---------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|---|----|
| 指標の内容                            | 計画に登載した構成事業の進捗率 |           |                     |           |           | 単位        | %         | 指標の傾向 | ⇒ | 備考 |
| 当該指標を設定した理由                      | 年次              | H26(2014) | H27(2015)           | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019) |       |   |    |
| 構成事業を着実に実施することで、歴史的風致の維持向上を図るため。 | 目標値             | -         | -                   | 50.0      | 55.0      | 60.0      | 65.0      |       |   |    |
|                                  | 実績値             | -         | -                   | 45.0      | 52.5      | 55.0      | 60.0      |       |   |    |
|                                  | 達成率             | -         | -                   | 90.0%     | 95.5%     | 91.7%     | 92.3%     |       |   |    |